

地球温暖化・災害に強い県づくり対策
特別委員会

会議記録（第11号）

令和7年9月30日

福島県議会

1 日時

令和7年 9月30日 (火曜)

午前 10時58分 開会

午前 11時05分 閉会

2 場所

第一特別委員会室

3 会議に付した事件

- (1) 地球温暖化対策（主にカーボンニュートラルの実現）について
- (2) 災害に強い県づくりについて
- (3) 上記(1)及び(2)に関連する事項

4 出席委員

委員長	佐藤政隆	副委員長	山田真太郎
副委員長	鈴木優樹	委員	渡辺義信
委員	今井久敏	委員	古市三久
委員	佐藤義憲	委員	大橋沙織
委員	山口洋太	委員	猪俣明伸
委員	石井信夫	委員	金澤拓哉

5 事務局職員

政務調査課 主査 大竹康太朗

政務調査課 主査 遠藤智大

6 執行部

生活環境部

生活環境部長	宍戸陽介
生活環境部政策監	佐藤司
生活環境総務課長	笹木めぐみ

7 議事の経過概要

(午前 10時58分 開会)

佐藤政隆委員長

出席委員が定足数に達しているので、ただいまから地球温暖化・災害に強い県づくり対策特別委員会を開会する。

初めに、会議録署名委員の選任について諮る。

会議録署名委員は、委員長指名で異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

佐藤政隆委員長

異議ないと認め、渡辺義信委員、今井久敏委員を指名する。

次に、本日の会議運営について諮る。

本日は、初めに、本委員会の調査終結について諮り、次に、調査報告書の取りまとめを行った後、知事申入れについてお知らせするという順序で進めたいと思うが、どうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

佐藤政隆委員長

異議ないと認め、そのように進める。

なお、本日の会議には、あらかじめ生活環境部長及び関係職員の出席を求めているので、了承願う。

それでは、本日の議事に入る。

初めに、本委員会の調査終結について諮る。

本委員会の調査については、今定例会をもって終結することを目途に、鋭意、調査を行ってきたところであるが、付議事件の調査については、概ね、その目的を果たしたものと思われる。

したがって、本委員会の調査は今定例会をもって終結したいと思うが、どうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

佐藤政隆委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

次に、調査報告書について諮る。

委員会における調査が終結した場合、会議規則第 76 条の規定に基づき、委員会調査報告書を議長に提出することになっている。

については、本日配付しているこの調査報告書（案）をもって委員会の調査報告書としたいと思うが、どうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

佐藤政隆委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

なお、会議規則第 40 条第 1 項の規定により、委員長が、調査の経過及び結果を本会議場で報告することになるが、その案文については、正副委員長に一任願う。

次に、知事申入れについてである。

申入れの詳細については、前回の委員会において、正副委員長に一任をもらつたところであるが、10月2日、今定例会閉会日の本会議終了後、正副委員長及び理事により行うこととするので、了承願う。

なお、知事申入れに先立ち、本日の委員会終了後、正副委員長及び理事により、議長に対し、調査結果報告を行うこととするので、併せて了承願う。

以上で、本日の議事を終了したいと思うが、本委員会の調査終結に当たり、一言挨拶を申し上げる。

本委員会は、「地球温暖化・災害に強い県づくり」について調査をするために、令和5年12月26日に設置され、本日まで調査活動を行ってきたところである。

何分、限られた期間における調査であり、付議事件の全ての問題について議論を尽くすことは困難であったが、この間、委員の皆様においては、格別の御精励を賜り、実りのある調査活動が行えたことを、心より感謝申し上げる。

本委員会では、地球温暖化・災害に強い県づくりに向けた施策の強化を図るため、脱炭素化・気候変動対応や廃棄物の減量・食品ロス削減、再生可能エネルギーの推進や防災・減災など、広範に提言等をまとめることができた。

東日本大震災以降、本県は、「原子力に依存しない、安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり」を目指し、県民一体となって取り組んできており、取組は着実に前進しているが、世界各地で地球温暖化が要因とされる自然災害が頻発し、

甚大な被害が発生するなど、気候変動は人類共通の喫緊の課題であることから、引き続き、県民総ぐるみで地球温暖化対策を強力に推進するとともに、頻発化・激甚化する自然災害から県民の生命、身体、財産を守るため、災害に強い県づくりに向けた取組のさらなる推進が求められている。

本委員会における調査は、今定例会をもって終結するが、今回の調査報告書で取り上げた提言等が具現化され、「福島県2050年カーボンニュートラル」の実現に向けてオール福島で前進するとともに、全ての県民が安全・安心な生活を送ることができるよう、委員の皆様には、今後とも、なお一層の御尽力をお願いする次第である。

終わりに、本委員会の調査活動に特段の御協力をいただいた生活環境部をはじめ、関係部局の皆様に対し、心から御礼を申し上げ、委員会終結に当たっての挨拶とさせていただく。

以上で、地球温暖化・災害に強い県づくり対策特別委員会の調査を終結する。

(午前 11時05分 閉会)